

地元住民によるまちづくりへの対話

# 金津本陣まちづくり プラットフォーム会議

住民たちによるまちづくりを進めるため、J R芦原温泉駅周辺に住む市民や専門家で組織されたこの会議では、にぎわいづくりの5方針「誘」「景」「古」「憩」「商」を基に、3つのグループでまちづくりについて話し合っています。各グループリーダーの皆さんに、これまでの活動やまちづくりへの思いなどについてお聞きしました。



誘グループリーダー  
堀田 あけみ さん

## 自分たちができるところからやってみる

「誘」グループでは、まちなか周辺拠点の整備や人々が集まる催し物の企画などを担当しています。

これまでは「aキューブ」整備を中心に進めてきました。aキューブは、J R利用者が待ち時間に飲み物を飲んで一息つけるような場所が



**誘** まちなかの回遊性の創出  
魅力ある店舗に人々が集いにぎわう商空間

**景** 忘れ得ぬ風景に  
出会うまちづくり

**憩** 心やすらぎ、ほっとする空間づくり

**古** 歴史と文化の薫り  
高い街並みづくり

あったらという思いが実現したものです。観光情報発信の拠点としてだけでなく、子どもからお年寄りまでみんなが集まり、親しまれる存在になってほしいと願っています。観光客は人が集まる場所に集まるもの。まずは地元の皆さんからaキューブを利用してほしいですね。

北陸新幹線金沢開業後に観光客が増加すると言っても、遠いあわらまで誘客するには、人を強く引きつける魅力が必要です。

アンテナショップで働いていた際に、観光客の本陣飾り物に対する反応や関心が想像以上で驚いたのを覚えています。その経験から、本陣飾

## まちづくりは「特別なこと」ではない

北陸新幹線がやって来るといえども、住民の多くはまだ危機感がありません。まちづくりをするために国や県が支援してくれるのは、これが最後のチャンスです。当事者意識が薄いままでは、せっかく新幹線が来るのに、アピールできるチャンスを逃してしまいます。

いまだに「金津の人は金津、芦原の人は芦原」という意識があると感じるので、1つのまちとして一緒に盛り上げる必要があるのではないのでしょうか。金津と芦原それぞれの魅力が相乗効果となって栄える。そういう意識がほしいですね。

「全部がにぎわいづくりにつながっている」という意識で、小さなことからでもやっていきたい。祭りなど金津の古の文化が今後も続いていくように協力したいですね。地域の先輩方がこれまでやってきたことを引き継ぎ、残すこともまちづくりにつながっていると信じています。



▲本陣飾り物制作者募集のチラシ

北陸新幹線県内延伸の際に、観光客があえて芦原温泉駅で降りるには、温泉だけでなく、プラスαの魅力が必要。あわらを「気になる観光地」にするために、地域の特徴を全面に出したまちづくりをしていきたい。そ



憩・商グループリーダー  
笹原 修之 さん

このプラットフォーム会議は、市民の意見が反映されやすい形式で、自治会広場の命名の際に、昔からの愛称「ひろっぱ」をアレンジして使うという提案が通り、実現しました。地元の人のとっては、新しい名前より、昔からの呼び名の方が、より愛着がわきますよね。地元のメンバーが会議に参加しているからこそだと思えます。自分の意見が形になると、まちづくりへのモチベーションも上がりますね。

「憩・商」グループではこれまで、駅とIKOSSAの途中に休憩スポット「HIROPPA」(水口・天王自治会広場)を整備したり、フラワーサポート協議会と協力してまちなかにハンギングバスケットを飾るなど心安らぐ街並み整備を行ってきました。

また、駅前に人を集めるには、イベントで強制的に人を呼ぶのではなく、自然と集まりたくなる魅力を駅周辺に持たせることが大切。「駅前行けば何かあるだろう」と期待される場所になってほしいですね。今後は駅前通りの商店と話し合いながら、商店街の整備も進めていきたいです。

地元が好きなたとっては、まちづくりは特別なことではありません。ただし、好きなことだけ言って、「後は誰かがやってくれる」と放棄するのは、まちづくりとは言えません。私も一度「まちづくり」を口に出したからには、今後もずっとまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。



▲本陣飾り物(六日)

「景・古」グループは、aキューブからIKOSSAまでの道に人の流れを作るため、金津地区やあわら市に縁のあるものをモニュメントとして点在させ、観光客により長く滞在してもらえ魅力あるエリアづくりを担当しています。また、エリア内の天王、新富地区の空き家を活用して本陣飾り物の常設展示場にする予定です。

## 全てがにぎわいづくりにつながっている

現在は、まちの象徴としてaキューブに展示するための本陣飾り物を制作するプロジェクトをメインに進めています。本陣飾り物は、本来は金津祭りや切り離せないもの。しかし、「日用品を使って誰かをもてなそう」という思いは、金津の文化資源として利用できるものだと考えています。市民参加型のプロジェクトとして、



景・古グループリーダー  
湊谷 源邦 さん

## J R芦原温泉駅周辺の憩を創出

### 花のまちづくり

あわら市フラワーサポート協議会を中心として、J R芦原温泉駅周辺や金津本陣IKOSSAにハンギングバスケットを飾り、花であふれるまちづくりを進めています。



### HIROPPAの整備(水口・天王自治会広場)

J R芦原温泉駅からIKOSSAまでの中間地点にある、広場内にポケットパークを整備。四阿とベンチを設置し、まち歩きの途中でほっと一息つける休憩場所を提供します。



皆さんも、  
自分ができることから  
まちづくりに参加してみませんか？

